

展開のきっかけ

なんで色が変わったの？

学校法人岩崎学園 くりの木幼稚園（千葉県柏市） [5歳児]

<事前の様子> 園庭のあちこちのムラサキツユクサを使い、毎年色水遊びが盛んになる。水を少なめに入れると濃くなり、水をたくさん入れると薄い水色に変化する。「袋に前もって水を入れてしまうと、後から花を入れて揉んでも水が抵抗になって濃い色は発色できない」ことを体験したことで、きれいに発色させる方法として、子どもたちは「袋に花を入れてよく揉み、それから水を入れるやり方」を遊ぶ中で見つけた。

|                          | 子どもの姿   | 読み取り  |
|--------------------------|---|---|
| 不思議<br>↓<br>発想           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ムラサキツユクサの入った袋に、偶然に梅の実を入れた子の青い色水が赤い色へ変化した。「すぐにプワって色が変った」「不思議～!」「何で色が変ったの?」「魔法みたい」「じゃあ、他の物入れても色変わるのかな?」と草を入れたり土を入れたりする子どももいる。</li> <li>「草とか入れても色変わんない」「泥入れたら汚くなっちゃった」「入れる物で色が変わるのと変わらないのがあるのかも」「梅って酸っぱいじゃない?酸っぱい物だと変わるんだよ」「酸っぱい物は色を変える力があるんだね」などとやりとりをする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>* 梅の実が入ったことで色が変ったことは感じ取っている。</li> </ul>   |
| 試す                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内に咲いている赤、白、ピンク、オレンジなどのゼラニウムの色水遊びをしている。「赤の花が一番色が出るね」「サインペンのインクみたいにきれい」「白い花は絞っても白い水にならないんだね」「赤い花と白い花を混ぜてもピンクにならないんだ!」とやりとりをする。いろいろな色の花を混ぜて色水を楽しんでいる。</li> <li>・ムラサキツユクサと同じように梅を入れてみる子がいる。「ちょっと色が薄くなったね」「うん、ピンクになった」</li> <li>・偶然手を洗っていた子どもが「石鹸が付いた手を入れたら色変わる」と言うのを聞いて、子どもたちはとても驚き、試す子がいる。</li> <li>・ゼラニウムの花の水溶液に、石鹸を泡立てた手ごと入れた子どもがいる。すると紫色に変わる。「すごい!石鹸でも変わるね」「入れる物ですごく色が変わるんだね」と目を輝かせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>* ムラサキツユクサの色だけではなく、いろいろな色の花で試してみたいという姿である。</li> </ul>   |
| 表現<br>↓<br>発想<br>↓<br>試す | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紫キャベツの収穫をする。「緑のキャベツは平べったくてフワツとしてる」「紫キャベツはまん丸でぎゅとしてる」「葉っぱの裏は緑だね」「中まで紫なのかな?」「外側だけかもしれないよね」と、会話をする。</li> <li>・紫キャベツを包丁で切ると中身は鮮やかな紫色をしており、子どもたちからも「中はきれいな色してるんだね」「でも太い所(軸?)は白いね」などのつぶやきがある。</li> <li>・子どもたちから「早く食べたい」という声があり、茹でる。茹でているお湯は青い色に変わり、紫色だったキャベツも青紫色に変化した。「紫色がお湯に出ちゃったみたい」「すごい色!」「お湯で色が変わるんだね」「不思議～」という声が次々にあがる。茹で汁を見て、「色水遊びの水みたい」と言う。</li> <li>・「梅を入れたらこれも色変わるんじゃない?」と発想する言葉が出るが、この頃は6月も半ばとなっており、梅の季節は終わっていた。保育者からの「梅じゃなくてもできるんじゃない?やってみよう!」という提案を聞き、「紫キャベツの茹で汁にいくつかの添加材料を入れてどんな風に色が変わるのか」試す。</li> </ul> <p>&lt;この後、酢(今までも、梅がなくなり代わりに使用していた)、園庭の石灰などを入れたり、できた色水を混ぜたりして楽しんだ&gt;</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>* 比較できるように通常の緑のキャベツも育てていたので、同時に収穫する。感触の違いや特徴を確認している。</li> <li>* 色に関する発言を発端に、花の色水遊びと同様に紫キャベツの色水も色が変わるのではないかと考えをもつ子が出てきた。</li> </ul>  |

ポイント

園庭にある様々な自然物での色水遊びで、子どもたちは色を作り出す面白さや色の不思議さを体験しています。偶然に見つけた梅を色水に入れたら予想外の色に変わった驚きは、他の場面でも試してみたいくなる行動に結び付いています。子どもが自由な発想で遊びを楽しめるからこそできる体験です。